

はじめに

近年、性に関する情報の氾濫、携帯電話等の普及など、社会環境の大きな変化に伴い、児童生徒の性の逸脱行動等が問題となっています。このような現状を踏まえ、学校教育においては、幼児児童生徒が生命の大切さを理解するとともに、人間尊重、男女平等の精神に基づく正しい異性観をもち、望ましい行動をとることができるよう、教育活動全体を通して性教育に取り組むことが大変重要となっております。

とりわけ、本市においては、若年層の性感染症の罹患状況や10代の人工妊娠中絶率が全国平均を大きく上回っており、この意味からも、性教育の充実を図ることが喫緊の課題となっているところです。

札幌市教育委員会では、平成16年9月に策定した「札幌市教育推進計画～小・中学生の教育に関する改革プログラム～」の中に、性教育の充実を位置付けるとともに、研究委託事業として、学校等に指導方法等の工夫・改善のための実践的な研究を委託するなど、各学校での指導の充実に努めているところです。

こうした中、性教育のさらなる充実を目的に、幼稚園から高等学校及び養護学校の各校種の発達段階に応じた適切な指導計画の作成に資するため、このたび「性教育の手引」を発刊することとしました。

各学校・園においては、本手引を十分に活用し、今後も関係機関との連携を図りながら、一人一人の幼児児童生徒に、生命を大切に、人権を尊重する心をはぐくむとともに、性に関する正しい知識と倫理観を身に付けさせる指導が一層充実されることを願っています。

平成18年3月

札幌市教育委員会

教育長 松 平 英 明